

『「知る」からはじめる自分デザイン塾』

第1回
報告

26歳で起業した経営者が語る！ 社会課題と組織課題の交差点とは？

日時：6/11（土）

講師：合田文さん



株式会社TIEWA代表取締役、マンガでわかるLGBTQ+メディア「パレットーク」の編集長。

新卒で株式会社サイバーエージェントに入社し、ゲーム事業部に所属する。

その後、『未来を変える80人—僕らが出会った社会起業家（ソーシャルアントレプレナー）』という本の出会いがきっかけで、株式会社TIEWAの設立に至る。

「ジェンダー平等の実現」などの社会課題をテーマとした事業を行い、共通点でつながる男性同士向けマッチングアプリ「AMBIRD」の運営や、広告制作からワークショップまで、クリエイティブの力で社会課題と企業課題の交差点になるようなコンサルティングを行う。また、2020年には、Forbes 30 UNDER 30 JAPANに選出された。

LGBTQ+など、近年よく聞かれるようになった、マイノリティ（少数派）とマジョリティ（多数派）。全体として、どう変わっていくのがよいか、という話題では、マジョリティが変わった方がよく、**バリアフルレストラン**の例を出しながら、「誰かが我慢を強いられるより、みんなが暮らしやすい社会やルールにしていく方がよい」とお話しくださいました。

※バリアフルレストラン

車いすユーザーが多数派となった場合の世界を体験できるレストラン。

天井は低く、椅子もないので、二足歩行には過ごしにくい。

また、アンコンシャスバイアス（無意識の思い込み）の話題では、女性だから男性が好きだろう、小さな子どもがいるから責任の重い仕事は振らないようにしようなど、無意識に当たり前に思っていること、また配慮のつもりが本人の意志を無視してしまう結果となってしまふことなど、気づききっかけになった方も多いのではないのでしょうか。

他にも、社会が抱える貧困や気候変動などの問題と、企業が抱える人材確保やコスト改善などの問題とを掛け合わせて取り組む話など、新しい視点でのたくさんのご講話に、大変学びの多い講座となりました。

女性として生まれて、精神障がいを抱えて、この社会が変わればよいと思うことはたくさんあったが、どのようにすればいいのか分からなかった。今回の話を聞いて、参考になる部分もあり、励みになった。（20代女性）

合田さんの感性に好感が持てた。（50代男性）

新しい考え方や、視野が開けた。（60代男性）

たくさんの年代の悩みや質問からも色々考えることができてよかった。（20代女性）

参加者の声



講師自身が自分のバイアスを理解されていてよかった。（60代男性）

以前からパレットークを拝見していました。ジェンダー平等やアンコンシャスバイアスとはつきにくい話題ですが、マンガであれば気軽に触れられると学びました。（30代女性）

我々世代が目覚めたジェンダー平等意識が若い世代にどう受け止められているか興味があったが、合田さんの取り組みを聞いて、より広く深い活動に進化していてもうれしかった。（70代女性）

第2回 報告

『「知る」からはじめる自分デザイン塾』

知ろう！気づこう！

無意識の思い込み（アンコンシャスバイアス）

日時：6/25（土） ～ひとりひとりの多様な可能性を拓くために～

講師：石井 真奈 さん



「まなのき」代表、（一社）アンコンシャスバイアス研究所認定トレーナー。
大学卒業後、旅行会社に勤務。その後、主に教育分野に携わり、現在は、教育機関、公的機関、民間企業・団体等にて研修・相談支援を行っている。
講師歴25年。近年は、社会人に加え、子どもたちにもアンコンシャスバイアスについて伝えていく活動を精力的に行っている。
その他、アンガーマネジメント、キャリア、ハラスメント防止関連の研修・セミナーに多数登壇中。

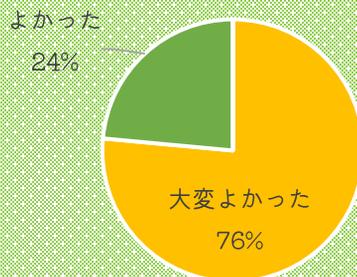
アンコンシャスバイアスとは？

無意識の思い込みのこと。年代や職業、学歴などを聞いて、この人はこんな人なのでは？と無意識に思い浮かべるなど、実はアンコンシャスバイアスは日常に溢れています。

そういったアンコンシャスバイアスから生まれる判断や言動が、時に相手を傷つける、自分自身の可能性を狭めるといったネガティブな影響を及ぼすことがあります。

そのため、まずは自分にはどんなアンコンシャスバイアスがあるか、一人ひとりが普段からアンテナを立てて向き合っていくことが大切です。

参加していかがでしたか？



参加者のみなさまにご満足いただけました！

自身の中にあったバイアスだけではなく、受けたものが多かったことにも気づけた。向き合い続けていると、精神的に扱られることも多い。仲間がいるといい、と思えるようになった。（20代女性）

これまで、●●さんに誤解された、こんな風にされたとの例ばかりが出ていたけれど、この講座で「私のアンコンとは何だろう・・・」と心に置いて生活しようと思いました。（40代女性）

例や、どうしたらいいかが具体的で分かりやすかったです。（性別等不明）

参加者の声



分かりやすい講座で、参加してよかったです。ありがとうございました。（60代女性）

自分が色々なアンコンシャスバイアスを持っていて、生きづらさを生み出していると感じた。思い込み、囚われを緩めていきたい。（60代女性）

身近な内容のお話しなので、面白く、ワクワクして聞きました。もっともっと聞いていたいと思いました。この講座は時間が経つのが早かった・・・（60代女性）

『「知る」から始める自分デザイン塾』

第3回
報告

働き方改革に取り組む企業に聞く 組織も人も成長する職場の極意

日時：7/1 (金)
講師：木曾 千草さん
杉野 里佳さん
久保 正明さん



能力開発システム研究所
代表 木曾 千草さん



伊予銀行 人事部
次長 杉野 里佳さん



サイボウズ株式会社
カスタマー本部
ローカルブランディング部
部長 久保 正明さん



コーディネーターの木曾さんの進行の元、伊予銀行の杉野さん、サイボウズの久保さん、お二方のそれぞれの職場改革のお話を伺いました。

ご参加のみなさんも、2社とも松山市の企業ですので、ご講話を大変身近に感じたご様子でした。

【伊予銀行様】

「女性活躍推進」や「ワークライフバランス」の観点から制度休暇の拡大やノー残業デー推進、男性育休義務化など、各種施策を実施。

また、イクボスの育成にも力を入れている。さらにビジネスカジュアルの導入、副業の解禁などの働き方改革を進めている。

これらの取り組みの結果、有給取得率の増加、時間外労働の減少など、成果が表れている。

※イクボス：部下のワークライフバランスの配慮ができ、自身の仕事と私生活を楽しめ、組織の目標を達成する管理職



【サイボウズ様】

サイボウズの人事制度の方針「100人いれば100通りの働き方があってよい」の言葉通り、残業なしや短時間勤務の選択、最大6年の育休休暇など制度が充実している。さらに、地方移住してもOKのリモートワークなど、世界のどこにいても仕事可能な業務スタイルを実現している。

テレワークの「雑談ができない」というデメリットを、アプリなどを使い、社員同士が簡単に情報共有できるように取り組み、解消している。



女性活躍を推進されている企業の話を知ることができてとても学びになった。
(20代男性)

このような取組をしている企業さんが県内におられると、励みになります。ネットニュースではなく、地域で活躍されている皆さまのお知恵を直に聞いて良かったです。
(40代女性)

身近な取り組みの紹介が参考になりました。
(40代女性)

参加者の声



サイボウズさんの先進的な取り組み内容が聞けたこと、大変参考になりました。
(40代男性)

情報共有の取り組み、伝達が参考になりました。
(60代男性)

講師の先生方が短い時間で、簡潔に分かりやすくお話しを聞いて、勉強になります。
(60代女性)

実際の話が聞いてよかった。
(60代女性)

さすが！サイボウズ！
(70代女性)